



# 所信表明演説 危機的状況の打開へ

平成22年枕崎市議会第一回定例会が3月5日招集され、神園征市長が市政運営についての所信表明を行いました。その全文を紹介します。

平成22年の3月議会開会に当たり、市政運営についての所信を簡潔に申し述べ、市議会並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたしますと存じます。

▼私は、この一年間、市内をコツコツと一戸ずつ訪ねながら、現状をこの目で見、この耳で聞き、枕崎の今と近い将来を考えました。歩くことは、枕崎の置かれた危機的状況を実感することになりました。

危機的状況とは、すなわち、鹿児島県下でも最も激しい方に入る人口減少の進み方、少子高齢化の進み方、惨憺たるとも言える市街地の空洞化と郊外への拡散傾向、崩壊しつつある自治組織、そして、大変厳しい財政事情などといった現実であります。

これらは、8年前、私自身が初めての所信表明で述べたこと、4年前の退任式で述べたことと殆ど重なっていることに愕然としました。8年前、4年前に突きつけられていた課題が依然として残されたままであることに、

全身を打たれる思いでありました。

▼私は、危機的状況への必要な対策として、次のことを掲げております。

- 1 コンパクトシティをつくる（市街地の再生）
- 2 雇用の場の確保
- 3 福祉の充実
- 4 行財政改革（枕崎再生のための財源づくり）
- 5 職員の地域担当制をつくり、地域の課題解決を図る
- 6 快適な環境をつくる

これらの具体的中身については、これから多く語り、議論されていくでしょう。いずれをとりましても、それが多くの課題と困難を伴うものであります。中には、財源さえあれば、比較的短期間に解決・実現するものもあります。

しかし、現実には厳しい財政事情の中で、知恵にたよって目標実現に向かわなければなりません。市としては、素案づくりなど、すでに動き始めておりますが、短兵

急にはいかない、時が必要なものであることをご理解・ご協力いただきたいと思っております。

▼就任後、1か月が過ぎました。思っていた以上の難題が日替わりで押し寄せております。そういう中において、市役所に一筋の曙光が見え始めたことをご紹介させていただきますたいと思っております。

行財政改革に関し、これは一部の人間だけが取り組むものではなく、すべての職員が取り組むべきものだと考えから、全職員に対し、改革案の提出を求めたことは、「広報まくらざき」の2月号にも書きました。そして、提出期限日を過ぎたものの、2月未だには、全職員から各々の改善案・改革案が提出されました。画期的な出来事であろうと大変うれしく思っております。

私の手元にも全部揃えてもらって、合い間合い間に目を通し始めています。「な程」と思わせる改善案・改革案は数多く、これらを

今後実行に移していくことが、職員の意識改革の第一につながると思っております。

市役所には、職員の教育研修予算というのが極めて乏しいのが現実ですが、毎日の職務を通して、教育研修を深めていければと思っております。

▼地域が元気に蘇るきっかけは、市役所の職員はもとより、市民すべてが現実を知り、危機感を共有することだという私の考えは変わらません。隠し事のない清潔な政治をいうゆえんです。私は、市民の耳に心地よいことだけをお知らせするのではなく、枕崎の現状・現実を率直に話していきます。「嘘を言わない」「市民に本当のことを伝える」「自立する地域づくり」によって、「共生協働のまち」を目指してまいります。

議員の皆様や市民の皆様のご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 平成22年度当初予算は 骨格予算でスタート

### 平成22年度一般会計当初予算は93億6,290万円

平成22年度の予算編成に当たっては、景気後退等により減少する歳入総額に耐えられる歳出構造にしていこうと、行財政改革を積極的に進め、財政の健全化を図っていくことを第一に考えました。また、市民との協働についても積極的に取り組み、「ゼロ予算事業」の更なる拡充を図っていきます。

しかし、市長就任後間もないため、今回の当初予算は、年間予算ではありませんが、「骨格予算」としました。

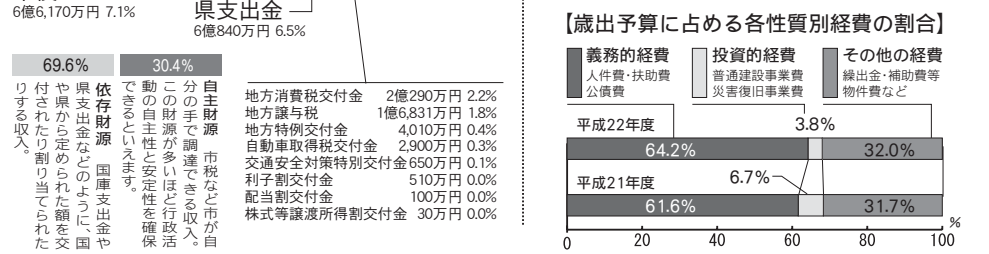
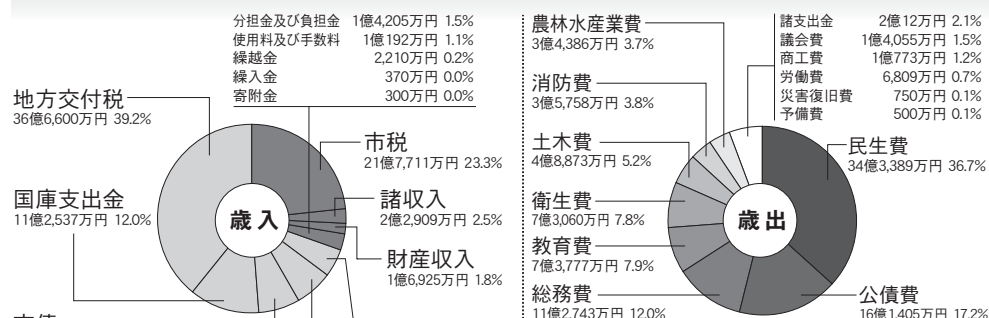
■骨格予算とは？  
本来当初予算は、その年度のすべての歳入、歳出で編成されるものです。しかし、今年度は市長就任後間もなく、政策的な判断がしにくいため、政策に係る収支を除いた人件費などの義務的経費を主体として必要最小限の収支のみを計上しました。この予算を「骨格予算」といいます。

■政策経費はどうするの？  
投資的経費などの政策経費については、補正予算として6月議会に上程する予定です。詳細は「広報まくらざき」7月号に掲載する予定です。

### 平成22年度 各会計の当初予算額と増減率

会計名	当初予算額	増減率(%)
一般会計	93億6,290万円	△1.1
国民健康保険	38億5,213万8千円	6.7
老人保健	233万9千円	△66.6
後期高齢者医療	2億7,884万7千円	△3.0
介護保険	20億5,919万3千円	2.1
公共下水道事業	8億8,060万1千円	△13.8
病院事業	収入 5億3,249万円 4.4 支出 5億7,338万9千円 6.7	
資本的収支	収入 4億6,440万3千円 皆増 支出 5億 400万4千円 2,988.6	
水道事業	収入 4億7,733万円 △0.3 支出 4億6,734万5千円 2.3	
資本的収支	収入 3,467万円 △73.7 支出 2億1,105万9千円 △56.2	

### 平成22年度一般会計当初予算（93億6,290万円）の内訳



社会福祉協議会の水増し請求問題の水増し請求問題の発言について

社会福祉協議会の水増し請求問題に関連して、「広報まくらざき」2月号の記事や枕崎青年会議所主催のマニユフエスト公開討論会での私の発言内容の一部誤解を招くような部分があったことから、社会福祉協議会並びに、関係者の方々にご迷惑をおかけしていることを心からお詫び申し上げます。

私の申し上げたかったことは、再び、このようなことがあってはならないし、万が一あった場合には、市政を問わず、市民の皆様、情報開示を積極的に行っていくという政治姿勢を示したかったものであります。ご理解をお願いいたします。

もちろん、現在の社会福祉協議会に対しては、全福祉協議会を寄せたものであり、福祉給食サービスについても継続してお願いする所存です。枕崎の再生のためには難題が山積していますが、その一つ一つを市民の皆様と一緒に解決していきたいと思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

枕崎市長 神園征